



## 新年のご挨拶

蒲郡市社会福祉協議会 会長  
金原 久雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日ごろは社会福祉協議会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様方もご承知のとおり、蒲郡市の高齢化率は県下市の中でも新城市に次ぎ2番目に高く、今後も高齢化は更に進んでいくと思われます。

このため私ども社会福祉協議会いたしましては、行政との連携を密にしながら、高齢者の福祉対策を最重要課題として、今年も各種の事業を進めていく考えであります。

介護保険事業では、指定事業者としてケアプランの作成や訪問介護事業を行っており、今後も引き続き利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努めてまいりますとともに、独居高齢者等を対象とした給食の配食サービスを始め、安否確認や交流会の開催、ふれあい蒲郡の事業なども引き続き実施してまいります。

昨年、役員等で視察に行った滋賀県守山市では、65歳以上の方の介護予防と生きがいづくりのために「いきがい活動ポイント事業」を始められていました。

この事業は、介護施設、障害者施設、保育園等で、ボランティア活動を行った場合、その活動に対し、ポイントを付与し、貯めたポイントを市内の商店等の商品券や公共施設の利用券に交換したり、また自治会等に寄付ができるという事業で、高齢者のさらなる健康保持に努めておられました。

生きがいをもって楽しい生活を送るために、健康でなければなりません。体の健康は勿論のこと、心も健康でなければ楽しい生活はできません。老人クラブ会員の皆様には、本年も健康で生きがいを持って活躍されることを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

## ゆたかな地域社会づくりに奉仕する

地元とともに——

**蒲郡信用金庫** 65周年  
おかげさまで  
がましん

理事長 竹田 知史

<http://www.gamashin.co.jp/>



シニア シチズンズ クラブ  
(Senior Citizens' Club)

蒲郡市老人クラブ連合会 会長  
大向 正義

明けましておめでとうございます。蒲郡老人クラブ連合会会長の大向正義です。老人クラブは、地域に自発的に生まれた高齢者の組織をもとに、イギリスの「老人クラブ」理念に学び、敬老行事の「としよりの日」運動と呼応しながら全国へと広がりました。

昭和37年「老後の幸せは自らの手で創り出そう」を合言葉に全国老人クラブ連合会が結成されました。昨年10月4日、日比谷公会堂において、天皇皇后両陛下御臨席、内閣総理大臣、衆参両議院議長、厚生労働大臣を御迎えして、全老連老人クラブ連合会創立50周年記念全国老人クラブ大会が開催されました。私も愛知県老人クラブ連合会副会長として出席いたしました。そこで次のように、天皇陛下のおことばをいただきました。「多くの高齢者が、老人クラブの様々な活動を通じて、子供たちや、若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進めていることは非常に心強いことであります。老人クラブが、豊かで活力のある社会を築くために、引き続き大きな役割を果たすことを期待しております。」このように老人クラブは、伝統や名誉のある素晴らしい団体です。

昨年度蒲郡市老人クラブ連合会は、老人クラブ会員の減少と高齢化の対策として、「いきいきだより ミニ」の年4回発行蒲郡市全戸配布と「蒲郡市老人クラブ連合会ホームページ」を作成して、情報を発信してきました。

今年度は、昨年蒲郡市が廃止したダイヤモンド婚・金婚式のお祝いの再開や、西尾市老人クラブ連合会との交流を通じて、「赤い電車を守る事業」をさらに強化いたしました。蒲郡市老人クラブ連合会は、昭和40年4月に結成され、2年後の平成27年度に創立50周年を迎えます。そこで創立50周年記念事業として、若手リーダーの育成のための「シニアまちづくり大学」開催や、「老人クラブ」の老人という言葉への違和感の超克を目指して、ネーミングの変更、「老人クラブ」から「シニア シチズンズ クラブ(Senior Citizens' Club)」へを検討していきます。

老人クラブが生まれて50年、さらに進む高齢社会の中で、すべての高齢者、すべての世代と連帯して「新たな絆社会」の創造を築くこと、それが私たちの目指すものです。